



上場会社名 株式会社 ドウシシャ
コード番号 7483

上場取引所 東・大
本社所在都道府県 大阪府

(URL http://www.doshisha.co.jp)

代表者 代表取締役社長 野村 正治

問合せ先 責任者役職名 取締役(財務経理・業務管理・貿易業務担当兼財務経理部・業務管理部ダイレクター)
氏名 藤本利博 Tel (06) 6121-5669

四半期決算取締役会開催日 平成19年1月31日

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法と最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 有
 ・連結財務諸表作成基準 : 中間連結財務諸表作成基準
 ・会計処理方法の変更の有無 : 無
- ② 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 連結 (新規) (株)カリンピア (株)カリンピアについては、当第3四半期連結会計期間において、新たに株式を取得し子会社化したため、連結の範囲に含めております。なお、(株)カリンピアは中間会計期間末をみなし取得日としております。
- ③ 公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 有

2. 19年3月期の第3四半期の業績概況（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

〔記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。〕

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	66,081	(6.5)	4,857	(1.7)	4,973	(△1.3)
18年3月期第3四半期	62,062	(△2.8)	4,775	(1.4)	5,038	(7.0)
(参考) 18年3月期	78,664		5,332		5,709	

	四半期(当期)純利益		1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
19年3月期第3四半期	3,093	(4.4)	159	23	159	11
18年3月期第3四半期	2,964	(8.0)	153	90	152	90
(参考) 18年3月期	3,449		176	69	175	71

(注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期におけるわが国経済は、戦後最長の景気拡大を背景に、上場企業による設備投資の活発化や、増配がみられるものの、賃金はほぼ横ばいであり、家計においては実感乏しい景気回復となっております。また、この下期においては暖冬の影響で小売業、百貨店等の業績は全体的に力強さに欠ける状況となりました。

このような状況の下、当社グループは小売業の商品構成見直し、収益改善を支援すべく、トップシェアを奪取できる可能性の高いニッチ商品の商品力強化、店頭活性化のサービス提供の向上に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結業績は、売上高 66,081 百万円（前年同期比 106.5%）、売上総利益 14,704 百万円（前年同期比 104.8%）、営業利益 4,857 百万円（前年同期比 101.7%）、経常利益 4,973 百万円（前年同期比 98.7%）、四半期純利益 3,093 百万円（前年同期比 104.4%）と増収増益となりました。

＜ビジネスモデル群別売上高＞

(単位：百万円)

期 別 ビジネスモデル群	前第3四半期末 (平成18年12月31日)		当第3四半期末 (平成18年12月31日)			前連結会計年度 (平成18年3月31日)	
	売上高	構成比	売上高	構成比	前年同期比	売上高	構成比
		%		%	%		%
有名ブランド(FB)ビジネスモデル	24,818	40.0	25,881	39.2	104.3	31,827	40.5
プライベートブランド(PB)ビジネスモデル	19,193	30.9	19,903	30.1	103.7	24,584	31.3
ギフト(NB加工)ビジネスモデル	17,284	27.9	18,387	27.8	106.4	20,407	25.9
そ の 他	766	1.2	1,909	2.9	249.1	1,843	2.3
合 計	62,062	100.0	66,081	100.0	106.5	78,664	100.0

＜ビジネスモデル群別売上高＞

「有名ブランド(FB)ビジネスモデル」では、インポート雑貨関連の販売が好調に推移し、売上・利益面で大きく貢献いたしました。特に、ブランドバッグにおきましては、利益面で大幅に改善いたしました。

「プライベートブランド(PB)ビジネスモデル」では、企画先行型提案営業によりスポーツカジュアルウェアを中心としたアパレル関連の販売が好調に推移いたしました。また、業績が好調な得意先へ販売を集中させたスチールラック・家具関連も前年2桁の伸びとなりました。ハウスウェア関連商品におきましても暖房器具等の販売が堅調に推移し、利益面で貢献いたしました。しかし、デジタル関連商品等ニーズに合致した商品の提案遅れにより、A&V関連で売上が前年を大きく下回りました。

「ギフト(NB加工)ビジネスモデル」では、メインのお歳暮ギフト、フード・リカー関連商品が比較的競争の少ない中小型スーパー、酒店等の積極的な開拓により安定して2桁の伸びを継続しております。

当第3四半期の期末業績予想に対する進捗率は売上高80.5%、売上総利益79.3%、営業利益81.0%、経常利益82.9%となっております。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	45,287	32,508	71.2	1,676 99
18年3月期第3四半期	45,246	29,914	66.1	1,544 43
(参考) 18年3月期	39,724	30,391	76.5	1,564 94

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	△ 2,412	△ 1,029	△ 87	8,521
18年3月期第3四半期	△ 1,939	△ 341	2,013	11,268
(参考) 18年3月期	3,481	△ 440	△ 2,564	12,043

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の財政状態は以下の通りであります。

自己資本は前期末比1,838百万円増加しましたが季節的要因として総資産が5,562百万円増加したため、自己資本比率は前期末比5.3ポイント悪化の71.2%となりました。

流動資産は、4,009百万円増加いたしました。主な要因は10～12月の売上・仕入の拡大により、受取手形及び売掛金が7,138百万円、たな卸資産が1,061百万円増加したことによるものです。

流動負債は、4,268百万円増加いたしました。流動資産の状況に対応して、経常運転資金調達として短期借入金が2,924百万円増加、仕入増加による買掛金が1,506百万円増加したことによるものであります。

[キャッシュ・フロー計算書(連結)の状況に関する情報]

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は2,412百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益5,243百万円、仕入債務の増加額1,677百万円、移転補償金の受取による収入537百万円による増加と、売掛債権の増加額6,900百万円、たな卸資産の増加額1,027百万円、法人税等の支払額2,293百万円による減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,029百万円となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入938百万円による増加と、有形固定資産の取得による支出81百万円、投資有価証券の取得による支出1,308百万円、関係会社株式の取得による支出471百万円、貸付による支出113百万円による減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は87百万円となりました。これは主に、短期借入金の純増額2,548百万円、株式発行による収入111百万円による増加と、長期借入金の返済による支払1,299百万円、配当金の支払821百万円、自己株式の取得565百万円による減少によるものであります。

3. 19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	予 想 売 上 高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	82,100	6,000	3,500	182 12

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

[業績予想に関する定性的情報等]

現時点では、今後の業績予測につきましては、平成18年10月31日発表の数値を修正しておりません。



平成19年3月期

第3四半期概要(個別)

平成19年1月31日

上場会社名 株式会社 ドウシシャ

上場取引所

東・大

コード番号 7483

本社所在都道府県

大阪府

(URL http://www.doshisha.co.jp)

代表者 代表取締役社長 野村 正治

問合せ先 責任者役職名 取締役(財務経理・業務管理・貿易業務担当兼財務経理部・業務管理部ダイレクター)

氏名 藤本利博

Tel (06) 6121-5669

四半期決算取締役会開催日 平成19年1月31日

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法と最近事業年度における認識の方法との相違の有無 : 有
- ・財務諸表作成基準 : 中間財務諸表作成基準
 - ・会計処理方法の変更の有無 : 無
- ② 公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 有

2. 19年3月期の第3四半期の業績概況(平成18年4月1日～平成18年12月31日)

〔記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。〕

(1) 経営成績(個別)の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	64,884	(4.9)	4,615	(0.2)	4,695	(△3.6)
18年3月期第3四半期	61,825	(△2.9)	4,607	(△0.8)	4,872	(4.0)
(参考) 18年3月期	77,616		5,130		5,496	

	四半期(当期)純利益		1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
19年3月期第3四半期	2,925	(2.2)	150	61	150	50
18年3月期第3四半期	2,863	(4.7)	148	69	147	72
(参考) 18年3月期	3,307		169	44	168	49

(注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
19年3月期第3四半期	41,331		31,800		76.9		1,654 67	
18年3月期第3四半期	42,191		29,660		70.3		1,531 35	
(参考) 18年3月期	36,669		30,132		82.2		1,551 65	

2. 19年3月期の業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金		1株当たり 予想当期純利益
				期	末	
通 期	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
通 期	81,000	5,700	3,340	22 50	45 00	173 79

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。